

検査・治療に対する説明・同意書

福島県立医科大学会津医療センター

・病名

急性膵炎後 Walled-off necrosis

・処置内容

内視鏡的処置の後に急性膵炎を発症し、その後に腹腔内に壊死物質が貯留しております。それにより発熱・倦怠感が持続しており、経皮的に Walled-off necrosis を穿刺し、ドレーン留置を行う必要がございます。また、ドレーン留置のみでは病除湯が改善しない可能性もあり、その場合には追加で処置が必要になる場合がございます。現時点では経皮的にステントを留置し、その内腔に内視鏡スコープを挿入して壊死物質を取り除くことを考えております。

・起こりうる合併症

出血、腸管など他臓器損傷

上記疾患に対する治療の説明を受け、検査・治療を受けることに同意いただけましたら、下記の欄に日付・署名をお願いいたします。

※医療の質の向上のため、本治療で得られたデータを匿名化した上で学会や論文として発表させていただく場合がございます。

説明者

同意者

令和 4 年 10 月 30 日